

## 海外で活躍する

# シニアボランティアの体験発表会

JICA（国際協力機構）は、開発途上国の発展を支援するため、実務の経験と知識を持ったシニア（40歳～69歳）を途上国に毎年派遣しています。この人達はシニアならではの、海外旅行などでの体験とは違ったいろいろなおもしろ体験をしています。そんな話題も含めて体験を披露していただくのがこの体験発表会です。

日 時：毎月第3水曜日 15時30分～17時  
 会 場：JICA 横浜 1階会議室  
 会 費：無料（どなたでも自由に参加出来ます）  
 主 催：NPO「シニアボランティア経験を活かす会」  
 後 援：JICA横浜

問合せ先：横浜市中区新港2-3-1 JICA 横浜3階国際協力連絡室内  
 シニアボランティア経験を活かす会 神奈川分科会  
 Fax:045-663-3263 担当：臼井道雄 045-891-5490  
 Eメール：[jicasvob@kme.biglobe.ne.jp](mailto:jicasvob@kme.biglobe.ne.jp)



プログラム：下記の通り

講師名 (赴任国)		「タイトル」 講演概要
11月19日 (水) 浅川克彦 (ウグアイ)		「僻地の小学校でのパソコン指導」 日本の裏側、日本と同じく四季があるウグアイ。しかしその風土や人々は大きく違っていた。生徒数約20人の僻地の小学校でパソコンの便利さを伝えた2年間の活動をお話します。
12月17日 (水) 今岡昌恒 (パラグアイ)		「パラグアイと教育」 パラグアイの概要と同国の教育事情（1. 幼児・初等・中等・高等各教育の状況と特殊教育 2. 識字教育と被差別問題 3. 保健福祉厚生と救済保護 4. 国外との連携と援助）から教育の諸問題を考える。
1月21日 (水) 斎尾恭子 (エチオピア)		「エチオピアの農と食」 エチオピアの食生活は、古い地中海文明の影響と中東イスラム圏の影響を強く受け、その上エチオピアでしか食用としない作物を食するなど独自の食体系を持つ。最近実施した予備的調査結果とともに話します。
2月18日 (水) 吉田英雄 (アルゼンチン)		「異文化・異制度社会におけるボランティア活動」 ・シニアボランティア（SV）活動に参加した動機。 ・亜国における2度のSV活動の結果と感じた事。 ・現場経験から、SV活動の効率・成果向上のために望む事。
3月18日 (水) 小田篤美 (モンゴル)		「零下35度を生き抜く・社会福祉を考えた日々」 強い人は英雄、弱い人はどうなる？ 社会福祉って何？ 長い冬、スモッグ、土埃、綿ぼこり、短い春の草原、凍てつく大地の楽しみ、若い人口の多い国の未来、子供達の毎日、都市化の問題、政変のなごりなどを伝えたい。
4月15日 (水) 塩田悦三郎 (チリ)		「北に砂漠、南に氷河、細長い国:チリ」 「神様が世界を創られた時、美しいものが少しずつ余っているのをご覧になって、それらを寄せ集めて一つの国をお作りになった。それが“チリ。”との言い伝えがある。“チリ”には天の恵みを受けたあらゆる美しいものがある。それらの一部と国民性などを紹介します。